

三宅島ふるさとだより NO. 37

発行日 平成 25 年 5 月 1 日 発行者 三宅島ふるさと再生ネットワーク 会長 佐藤就之 090-4922-0798

本部: 〒100-1101 東京都三宅島三宅村神着 320-2 事務局: 〒173-0005 東京都板橋区仲宿 25-6

ご寄付のお願い

春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

4・17の三宅島震度5強の地震の際には、全国の皆さまからお見舞いのお言葉を沢山いただきました。有難うございました。

テレビでも報道された通り家屋や山道・村道などがけ崩れの被害が一部にありました。しかし他地区、地域では、軽少の被害ですみ大丈夫でした。しかし各種報道に驚いて観光を予約していたお客様が4月20日現在、観光関係者によると100名を超えるキャンセルが出て風評被害を心配しています。

しかしながら今回の地震は三宅島の噴火や首都直下型地震にも連動する可能性も無視できず気象庁が言うように、楽観視はしていません。復興・再生努力と共に防災の備えが必要だと思っています。

さて、日ごろから皆様にご協力をお願いして、私たち三宅島ふるさと再生ネットワークは、様々な活動が続けることが出来ました。2000年噴火から早くも13年、帰島から8年の年月を重ねてきました。しかし、いまだ火山ガスの被害が続く住居条件付き制限、生業禁止の高濃度地区が解除されていません。1000人余の在京者も避難先で自立し生活をしているものの一昨年のアンケートでは 20 数%が帰島を望んでいます。帰島の為の障害を取り除く努力の結果、人工透析導入の実現など成果もあげてきましたが、まだまだ課題は、山積しております。さらに島の生活、産業の再生・復興の取り組みもあります。また、私たちの長期自然災害の経験の教訓を広げ、国・自治体等の行政機関の救済制度の改正も重要です。

そのため様々な課題に対しての活動と発信力を高める努力をしたいと思います。

これらの目的のために大変勝手ではございますが、新年度を迎え「郵便振り込み用紙」を同封させていただきました。このご寄付は、皆様の善意による自発的なものですので、誤解をなさらないように自由な判断でご協力を出来る方は、お願いいたします。引き続きこれまで通りお付き合いのほどお願いいたします。

郵便振替口座番号 : 00120-3-545036 口座名称 : 三宅島ふるさと再生ネットワーク

三宅島ふるさと再生ネットワーク 会長 佐藤就之 世話人一同

激励メッセージ有難うございました

3月9日の「新春の集いに」出席していただけた方、出席いただけなかった方々からも、多くのメッセージが届いておりますので、一部ご紹介いたします。(順不動)

◎ ◎ ◎ ◎

「先月 12 日、衆議院予算委員会で前石原都知事が三宅島の発展について話されていました。多くの方に現状が伝わり、本当の発展につながると良いですね。皆さまのご多幸をお祈りいたします。」 (協力者 柚木裕子様)

公明党都議団幹事長 中嶋義雄様より

「本会議予算特別委員会開催中のため、残念ながら欠席させていただきます。」(世田谷区)

民主党都議 馬場裕子様より

「出席します。いつも会報をありがとうございます。皆さまのご活躍を期待しております」(品川区)

民主党都議 斎藤あつし様より

「子どもの時やボランティアサークルなどで何

度も行った三宅島の再生を、心よりお祈り申し上げます」(小平市)

民社党区議 北川かつしげ様より

「いつも新報をありがとうございます。地道な活動に心から敬意を表します。ますますのご発展をお祈りします」(練馬区)

「まだまだ寒い日は続きます。ご自愛下さい」

(在京者 井澤朋子様)

「3月からはNHK ラジオセンターに戻るになりました。今後ともラジオをよろしくお願い致します」

(NHK アナウンス室 金澤利夫様)

「東北・仙台に行っていたため連絡が遅くなりました。当日はNPO 法人の理事会のため時間が取れませんが、盛会を祈念します」

(協力者 川島徹様)

「島のますますの復興を願っています。」

(元三宅高校校長 松尾駿一様)

「子どもがまだ小さく参加できませんが、良い会になることをお祈りしています」

(元世話人 長嶺(旧姓原口)真澄様)

「お体に気をつけて頑張ってください」

(向上高校教師 竹下克成様)

「会長をはじめ宗ノ子先生、皆様様によりしくお伝えくださいませ。またお会いできるのを楽しみにしています」(協力者 舞踊家・鶴吉様)

「出会いと巣立ちの時期を迎える頃となりました。皆様様との交流は巣鴨での新年会からです。交流の輪がこの様な形で継続していることに感動しています」(向上高校 高橋邦夫様)

「交流会への参加、よろしくお願い致します」

(危機管理勉強会齋藤塾塾長 齋藤實様)

「家族との行事と重なっているので、申し訳ありませんがよろしくお願い致します」

(協力者 小曾スミ子様)

「東日本大震災2年目の直前で、被災地に行っているため、参加できません」

(NHK解説委員 山崎登様)

「長期間本当に御苦勞様です」

(協力者 下山保様)

「皆さまのご活躍とご健康を願っております」

(協力者 助川俊夫様)

「ご無沙汰して申し訳ありません。本年も宜しくお願いします」

(世話人 吉田信行様)

「御盛会と皆さまの御健康をお祈り申し上げます」

(協力者 山岸貞男様)

「いつも新報を送っていただきまして、ありがとうございます。ご盛会を祈念しております」

(毎日新聞記者 木村健二様)

「新報をいつもありがとうございます。ガンバレ、三宅島！」(元共同通信記者 赤池孝之様)

「本年も宜しくお願いします」

(協力者 成島ますみ様)

「当日は豊島区防災フォーラムがあり参加できず、すみません。今度ともよろしく願います」

(世話人 京町様)

「都合により欠席させていただきます。盛会でありますように！」(在京者 平澤幸子様)

「一日も早く帰島できることを心よりお祈りしています」(協力者 井上教子様)

「2月に島に遊びに行ってきました。火山観光の発展に協力していきたいと思っています」

(元三宅高校教師 青谷知己様)

「皆さま、元氣でお過ごしでしょうか」

(毎日新聞夕刊編集部 大槻英二様)

「体調不良のため欠席します」

(三宅島出身者 加藤林子様)

「甥の法事と重なり欠席させていただきます。申し訳ございません」

(三宅島出身者 山田木末様)

「我々NPO は今後とも年2回程度、三宅島にて無料法律相談会を続けていく予定です。今後ともよろしくお願い致します」

(NPO 法人司法過疎サポートネットワーク 小海範亮様)

「残念ですが今回は欠席させていただきたいと思ひます。落ち着きましたら、また参加させて頂きたいと思ひます。今後とも宜しくお願い致します。」

(元事務局長 増田(旧姓伊藤)奈穂子様)